平成26年度 「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 【B 校】

学番小105番 新潟市立葛塚小学校（北区） 学級数 24 員数生徒数 657名

取組名
葛小ピオトープ 発 福島満行

取組のねらい
ピオトープにふれる、ピオトープに学ぶ、福島満の自然環境を学ぶ、のステップを通して、自然から学び、自然と向き合う子どもを育てる。

特色のある主な活動

1 《葛小のピオトープにいる絶滅危惧種を守ろう！！》

・活動内容 環境委員会は、学校のピオトープに生息する絶滅危惧種を調査し、それを守るための活動に取り組んでいます。

今年度は、福島満の生態に詳しい講師をお招きし、学校に生息する絶滅危惧種の生き物について教えてもらいました。

そして、子どもたちは、そんな自然豊かなピオトープを守るためにどんな活動ができるかを考えました。

〈絶滅危惧種の生き物もいっぱいのピオトープしよう〉

今、学校にいる絶滅危惧種の植物は減少方向にありますが、それらを維持し、増やしていくことが大切です。子どもたちは、講師の方と一緒にツバキなどの植物の種を植えることにしました。

〈この素晴らしいピオトープをもっとよく知ってもらおう〉

環境委員会の子どもたちは、ピオトープの素晴らしさを全校のみんなに知ってもらう活動に取り組み始めました。今はピオトープマップ作りにとりかかっています。来年はいろいろな形で知ってもらう活動を行う予定です。

2 《福島満案内人がって、福島満の自然のよさを全校のみんなに教えよう》

・活動内容 6年生は、9月に行われる福島満アドベンチャー（異学年交流の全校遠足）の際に学年の子どもたちに福島満の自然の豊かさを教えることを目標に、それらを学ぶ活動を展開してきました。

〈福島満を体験して、よさを学ぼう〉

1 レンジャーに福島満を案内してもらう 2 温泉体験をしよう

福島満の専門家に案内してもらうと、野鳥や植物の様子を教えてもらいました。草笛の作り方を教わったり、湯舟の船頭さんに亀を捕まえて見せてもったり、実物に触れながら福島満の自然の豊かさをたくさん知ることができました。

〈全校のみんなに福島満のよさを教えよう〉

福島満アドベンチャーでは、6年生が現地で教わったことを、年の子どもたちに伝えたり、福島満クイズを出したり植物を使った遊び道具を一緒に作りながら、福島満のよさを知ってもらう活動を行いました。

成果と課題
○成果 子どもたちは、自然と触れ合うことの楽しさをたくさん知ることができました。また、自然環境は何もしないでいると徐々に損なわれてしまうので、自ら守っていく必要があることがわかりました。

▲課題 活動に深くかかわった子どもたちは、高い意識をもっていますが、その意識を全校の子どもたちにもっと広げていく必要があると思いました。
学番小１０７番             新潟市立太田小学校（北区）       学級数 6       児童生徒数 62名
取組名                   未来へつなごう太田の森！         地域でかがやく太田っ子！
取組のねらい               地域と学校が太田の自然や伝統を守る活動を通して、パートナーシップ関係をより一層
                                              深め、子ども・地域・学校を元気にしよう。

特色のある活動

1 《地域の方と関わり、自分たちの取組の成果を実感した子どもたちしく守り育てよう太田の森》
＜木道づくり＞
・ホタルの幼虫がさざなぎになる池の周りの土を踏み固めないためにも
木道は適しているというアドバイスをいただき、地域の方と一緒に
って木道づくりにチャレンジしました。木道に自分の手形やサインを
入れることで愛着の湧く木道となり、子どもたちは目を輝かせて活動
に取り組みました。
＜「ホタルを見上げる会」での地域の方に向けての発表＞
・今年の「ホタルを見上げる会」では保護者、地域の方に向け、6年生が
取り組んできたことを発表しました。子どもたちは今までの取組を振
返るとともに、自分たちの努力や苦労の一端を話しました。地域の方
・保護者の方からも共感を得、太田小学校のピオニックを守り育てて
いくことの意義を再確認し、今後の活動への意欲を高めていきました。
6年生は不安な気持ちの中、ホタル池へ。周囲がうっすら暗くなると、ほ
のかに点滅する明かりが1つ、また1つ。昨年よりは明らかに数が増えた。周囲からは「きれいだね」「観れて良かったね」という声が…。6年生は周囲の方の声とほのかに点滅する明かりを見ながら
まるで子供をしました。
2 《みんなで踊れる「サイサイ踊り」を地域に広めよう》
・地域の自治会と学校のコラボで地域の盆踊り「太田サイサイ踊り」
の新しいバージョンを紹介しました。地域でも踊らなくなった「サイサイ踊り」を医療福祉大の学生さんに依頼して、振り付けだけを
直し、「太田っ子サイサイ」と名付けた新しい盆踊りにしました。高

成果と課題

〇児童は、地域との絆を深め、自信を持って活動に取り組むことができるようになりました。
今後も協力体制のネットワークを確かなものにしていく必要があります。
〇「太田っ子サイサイ」は地域と児童との距離を縮め、児童たちの地域を大切にする心を育
てました。今後この踊りが地域に根付くよう地域と一緒に努力していくことが必要です。
平成26年度 「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 【B校】

学番小202番 新潟市立大形小学校（東区） 学級数 34 児童生徒数 957名

取組名 学校⇒地域 「おおがた元気プロジェクト」

取組のねらい
・地域人材の掘り起こしとさらなる活用を図る。
・「学校⇒地域」双方向の活動を活性化することで、学校も地域も元気にする。

１ 「多くの方々とふれ合い、子どもたちの人とかかわる力を育んだ栽培活動」

地域の畑に出かけてさつまいも植ええとも掘り体験。自分の鉤と学校園で野菜栽培。収穫後の学校園で大根の種まきと大根抜き。その度に、農家の方や地域の方、保護者の方が、畑の先生やボランティアとして、一緒に活動してくださいました。

〇「野菜を育てる体験活動」では、何回も何回も畑の先生やボランティアの方々と活動します。また、参加してくださる方々は、野菜の専門家もいれば、栽培経験のない人もいて様々です。この「何回も何回も」と「様々な人たち」が子どもたちのかかわる力を育みました。図数と人の数が多くなると、わくわくして子どもたちが、いろんな良さを見つけ出してくれます。認めてもらううれしさと、収穫のうれしさが重なるから、子どもたちは大喜びです。感謝の気持ちが心からわいてきて、自然に「ありがとう。」と言えました。参加してくださった地域の方々も、「子どもたちの笑顔に元気をいただきたい。」とこっそり。子どもたちも地域の方も元気になった取組です。

２ 「地域の起業エキスパートから学ぶキャリア」

教育〜自分の「強み」を活かす〜

・6年生の総合的な学習のキャリア教育で、クラスごとに模擬会社を作り、卒業アルバムの編集を行いました。アルバム作成の業者と提携を結び、学級のページを作る活動です。地域の企業から、編集や起業のエキスパートをお呼びし、自分たちの「強み」を活かすことを教わりました。

〇卒業アルバムの出来が、自分たちの会社経営にかかってくる！「仕事」に対する真剣さが問われる活動です。どうすれば認めてもらえるか、みんなが納得する仕事になるか、悩みながら取り組んだ子どもたち、「自分の強み」を活かすというアドバイスをくださった地域の先輩の生き方から学び、自分の生き方を考える、充実したキャリア教育でした。子どもたちは、いくつかの壁を乗り越え、編集作業が無事終了した時には、大きな達成感を感じることができました。

成 果 と 講 題
〇子どもたちは、「教えてもらってうれしかった。」「自分の強みをこれからも活かしていきたい。」という充実感や満足感を感じられました。参加した方からも、「子どもから元気をもらいました。」「仕事の大切さが伝わってよかった。」と、前向きなお言葉をいただきました。「地域と共に歩む大形小学校」の取組が、着実に進んでいます。

▲まだままだアピールが足りません。「子ども発・学校発」の情報を発信し、地域も学校も元気になるように取り組んでいきます。
平成２６年度 「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 【Ｂ校】

<table>
<thead>
<tr>
<th>学番小２０４番</th>
<th>新潟市立木戸小学校（東区）</th>
<th>学級数 15</th>
<th>児童生徒数 ４０９名</th>
</tr>
</thead>
</table>

取組名：～世代を超えて心をつなぐ～ われら木戸っ子 ふれあい隊

<table>
<thead>
<tr>
<th>取組のねらい</th>
<th>～世代を超えて心をつなぐ～ われら木戸っ子 ふれあい隊</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>・幼児からお年寄りまで、幅広い世代の人たちとの交流を通じて、「助け合いや思いやり」の心を育み、地域を愛する絆を育てる。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>・お花や絵手紙等のプレゼント活動を通じて、地域の人々に対して自発的行動を動員する絆を育てる。</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

特徴
１ 《お年寄りとのふれあい活動で、子どもたちの心がやさしくなりました！！》
・地域に住むお年寄りに子どもたちが直接招待状を届け、学校に招待し、歌やダンスを見ていたいたったり、子どもたちが開く出店で一緒に遊んだり工作をしたりしていただきました。また、子どもたちが感謝の言葉を伝えたり、お花やメダル等のプレゼントを渡したりして、とても喜んでもらいました。

２ 《幼児とのふれあい活動で、思いやりの心が育ちました！！》
・地域に住むお年寄りと幼児、学習支援ボランティア等でお世話になっているお年寄りを学校に招待し、歌やダンスを披露したり、世話をするぞ、お花や手作りのメダルをプレゼントしたりして、具体的に感謝の気持ちを持ち、地域の人々を再確認するとともに地域を愛する心が育ちました。参加したお年寄りからは、「まさか感謝状までもらえるとは夢にも思っていなかった。」という感想をいただきました。

主な活動
１ 《地域の感謝の気持ちを実際の行動で～やさしい心の育成～》
・地域に住むお年寄りや日頃、学習支援ボランティア等でお世話になっているお年寄りを学校に招待し、歌やダンスを披露したり、世話をするぞ、お花や手作りのメダルをプレゼントしたりして、具体的に感謝の気持ちを持ち、地域の人々を再確認するとともに地域を愛する心が育ちました。参加したお年寄りからは、「まさか感謝状までもらえるとは夢にも思っていなかった。」という感想をいただきました。

２ 《幼児とのふれあい活動で、思いやりの心が育ちました！！》
・地域に住むお年寄りと幼児、学習支援ボランティア等でお世話になっているお年寄りを学校に招待し、歌やダンスを披露したり、世話をするぞ、お花や手作りのメダルをプレゼントしたりして、具体的に感謝の気持ちを持ち、地域の人々を再確認するとともに地域を愛する心が育ちました。参加したお年寄りからは、「まさか感謝状までもらえるとは夢にも思っていなかった。」という感想をいただきました。

成果と課題
〇今回の活動を通じて、子どもたちは自分から積極的にお年寄りや幼児に話しかけている姿が数多く見られるようになりました。また、世代を超えた者とのかかわりを設定したこととは、今後の子どもたちにとって、とても有意義な活動となりました。
▲相手がお年寄りや幼児ということで、事前準備や事後処理等、普段よりも、より丁寧な説明、早目の計画立案、細かな準備が必要であることが分かりました。次年度は、この点について改善を図っていきます。
平成26年度 「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 【B 校】

<table>
<thead>
<tr>
<th>学番</th>
<th>小209番</th>
<th>新潟市立東中野山小学校（東区）</th>
<th>学級</th>
<th>22</th>
<th>児童数</th>
<th>590名</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>取組名</th>
<th>わくわくしながら集い、寄り添い、地域と学校が笑顔になる「太陽のひろば」</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>取組のねらい</th>
<th>前庭をもっとわくわくするような活動場所とし、ともに楽しみ、子どもが元気に！地域が元気に！学校が元気に！なる。</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>特色のある主な活動</th>
</tr>
</thead>
</table>

1. 地域の人と子どもが自然の中で集い、寄り添う場づくり

6月の心地良い季節に紙芝居屋さんが前庭の「学びの森」に来てくれて、全校児童の中で聞いてみたい子どもが集まって、おじさんの話を楽しんで聞いています。大雨のときは無理があるけれど、小雨のときには、ワンタッチテントを活用してできるだけ自然の中で楽しめるようにしています。紙芝居の日は地域の人とも一緒に楽しめるように、呼びかけ

2. 名人さんを生かし、地域の人ともに楽しく楽しむ活動

茶道の先生の名人さんの力をお借りして、学校でクリスマス茶会や初釜をしています。今年は野点傘でより雰囲気を盛り上げ、地域の方も一緒に手前や抹茶を楽しみました。天気のよい日には、学びの森を生かして、地域の方に抹茶をふるまいます。「いい気持ちで楽しめた。」と言っていたけた

また、7月のオカリナコンサートでは地域の方も一緒に楽しんでくださいました。子どもは地域の人と歌って楽しんできたと言っていたた。

高学年は、将棋や囲碁に興味をもつ、地域の名人さんから手ほどきを受けています。晴れた日には前庭で、一緒に将棋や囲碁を楽しみます。

<table>
<thead>
<tr>
<th>成果と課題</th>
</tr>
</thead>
</table>

- 地域の方と子どもたちとの関係が深まり、地域の方々の声がことで子どもが居場所を見付けたり楽しい気持ちが持てたりできた。
- 地域の方が学校へ楽しみに寄ることができ、子どもから元気がもらえると喜んでもらえた。
- 地域の方への呼びかけや気軽に寄っていたのが工夫をしなくては活性しない。
平成26年度 「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 【B 校】

学番小305番 新潟市立新潟小学校（中央区） 学級数 24 児童生徒数 576名

取組名 融合戦隊 TANPOPOレンジャー エピソードⅡ

取組のねらい これまでの地域とのつながりを活かし、各団体と連携した事業を共に創ることで、互いに成長し、それぞれの事業の充実度が一歩前に進むような学社民の融合を推進する。

１《チャレンジレッド：持続可能な地域の夏のイベントとして定着した「タンポポ盆踊り大会」》
・コミュニティー協議会やスポーツ振興会等、当校を支える各団体が連携し、第2回目の盆踊り大会を開催しました。6年生が踊りの指導を行うなど、各団体が専門分野や得意分野で運営に参画しました。当日は昨年より多い約800名の参加があり、夏のイベントとして定着しました。
〇特徴
＜地域を巻き込む工夫＞
「タンポポ盆踊り大会を持続可能な地域の夏のイベントにしよう」をスローガンに掲げました。各団体の意見が集約しやすい体制づくりに努めました。多数の建設的な意見を今年度の運営に反映させることができたと共に、今後の開催についても意見が立ちました。

[チャレンジレッド]

２《チャレンジグリーン：得意なことを活かし、地域を盛り上げようとする意欲を高めた6年生》
・今年の6年生は踊ることが大好きです。これまで踊りを様々な場面で披露し、多くの人を楽しませました。最上級生となり、「踊りで地域を盛り上げたい」との思いを強くもち、タンポポ盆踊り大会、新潟祭りの舘に出展し、新たな総踊り祭において学習の成果を披露しました。
〇特徴
＜子どもの学びを深めた手立てや工夫＞
現6年生の昨年のタンポポ盆踊り大会や新潟祭りの住吉行列等の参加率を示し、その数値の原因を考えさせました。また祭りの意義についても調べさせました。にいがた総踊り祭出演という最終目標までに自分たちが地域に貢献できることを考えさせ、それを実行に移しました。

[チャレンジグリーン]

〇成果
・今年度も子どもの健全育成のため、学校、社会教育施設、地域住民が連携協力し、様々な事業を実施することができた。それに伴い、学校と他団体とのつながりがさらに強まった。
・各団体との連携協力により、第2回盆踊り大会を開催し、本事業が持続可能な地域の夏のイベントであるとの意識を各団体をはじめ地域住民にもたせることができた。さらに、この事業を契機にして、地域で新イベントを創ろうとする動きが出てきている。

▲課題
・校区内に様々な地域行事があり、各事業開催日の決定には連絡調整を密にする必要がある。
| 取組名 | 健康への関心を高め　体を鍛える子の育成　～元気力（気力・体力）の向上～ |
| 取組のねらい | 地域の社会教育施設や地域活動団体と連携し、運動環境を整え、児童への指導の充実を図り、保護者ともに子どもたちのよりよい健康づくりを目指していく。 |

<table>
<thead>
<tr>
<th>特長のある主な活動</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 「地域、保護者が参加する活動で、食への関心が高まる」</td>
</tr>
<tr>
<td>食生活改善推進委員会が主導し、山崎グループや山崎地区コミュニティ協議会等と連携し、料理教室を開催したり、桜が丘祭において「食」にかかわる活動に取り組んだりして、家庭や地域との連携を深め「食」への関心を高めたため</td>
</tr>
<tr>
<td>＜地域や保護者を巻き込んだ食育活動を設定＞</td>
</tr>
<tr>
<td>（1）桜が丘祭において、以下の活動を行いました。</td>
</tr>
<tr>
<td>①3年生「桜沼スイーツ販売」販売（地元のパン屋さんが商品化）</td>
</tr>
<tr>
<td>②6年生「桜が丘弁当」販売（PTA文化祭部と共催）</td>
</tr>
<tr>
<td>③「ハロウィンのおやつ」親子料理教室（食生活改善推進委員会が主導）</td>
</tr>
<tr>
<td>昨年度に引き続き、地域の食材「桜沼」を使って「スイーツ」や「お弁当」を考案・販売し、保護者や地域の方々から大好評でした。「ハロウィンのおやつ」親子料理教室は、定員を大幅に超える申し込みがありました。</td>
</tr>
<tr>
<td>（2）食生活改善推進委員会が主導し、運動への関心を高める活動を実施しました。</td>
</tr>
<tr>
<td>①今年度より「料理クラブ」実施</td>
</tr>
<tr>
<td>②食育クラブにて「おはよう朝ごはん」親子料理教室</td>
</tr>
<tr>
<td>昨年作成した「桜キッズおすすめレシピ」から選んで料理作りを楽しみました。料理クラブの子どもたちからは、「人に食べてもらいたい。」</td>
</tr>
<tr>
<td>と自分たちで料理をする楽しさを感じていました。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 2. 「専門家による指導により、運動への関心が高まる」 |
| 新潟アサヒアレックスアイスアリーナーを利用したり、薬屋・総合体育館、アップルスポーツカレッジ、アレバレックスランニングクラブの方から実技指導を受けたりしました。良い動きをみることで子どもたちは動きのイメージ、ポイントをつかみ「できるようになりたい」と意欲的に取り組んでいました。 |

<table>
<thead>
<tr>
<th>○成果</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>・食育に継続的に取り組んできた結果、親子料理教室への参加人数の増加、「何でも食べようとしていますか」の肯定的評価の増加となりました。今年度は、専門家からの継続的な指導を充実させることができ、運動への関心も高めることにつながりました。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>▲課題</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>・専門家からの実技指導を全学年へ取り入れたり、保護者と一緒でできる場も設定したりして、保護者、地域を巻き込んだ活動に展開していきたいと思います。</td>
</tr>
<tr>
<td>取組名</td>
</tr>
<tr>
<td>-------------</td>
</tr>
<tr>
<td>取組のねらい</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 1. 地域の先生からいろいろなことを教えてもらい、できるようになりました！

＜ゲストティーチャーの皆さんに教えてもらう＞
1か月に1回程度の頻度で、公民館やその他地域でサークル活動を指導している方を学校へ招いて、レクダンス、折り紙、フレアーカーリング、マジック、ピクニックなど様々なものを子どもたちに指導していただきました。また、そこでできるようになったことを、特別養護老人ホーム「ふれあいの杜」を訪問して披露し、皆さんと交流しました。

＜地域の皆さんに見せてもらう＞
地域教育コーディネーターの方々にお願いして、公民館などで活動している皆さんの発表会やコンサートを、小学校を会場にして開催しました。フルートやオカリナ演奏のコンサート、マジックショウなど、ゆるい時間で放課後の時間に開催し、子どもたちが地域の皆さんと一緒に観客となって鑑賞しました。子どもたちは、「じゃあすんだなぁ」「私もやってみたいなぁ」といった感想が聞かれ、回を重ねるごとに盛況となっていきました。

### 2. 地域の皆さんと交流して、喜んでもらいました！

＜世代交流会＞
幼児から小中学生、お年寄りなど、さまざまな世代の皆さん方が公民館に集まって、お互いのことを紹介して一緒に楽しむ会です。小学校は児童会活動や学級活動で経験したゲームなど、お年寄りはおはなしや昔話の語りなどをそれぞれ紹介して教え合い、一緒に楽しみました。子どもたちは、「おじいちゃんおばああちゃんが楽しいと言ってくれてよかった。うれしかった。」という声が聞かれました。

＜歳末ふれあいお楽しみ会＞
年末に公民館で開催されたもので、さまざまな世代の皆さん方が自分の特技などを披露し、交流する会です。小学校も前回のマジックなどを披露しましたが、特に高学年が中心となってがんばったハンドベルの演奏では、会場の皆さんから大きな拍手をもらいました。

### ○成果
- 活動に参加した児童の感想で、「いろいろなことを教えてもらった」「楽しかった」というものが多くなり、地域の皆さんとのかかわりに抵抗がなくなってきています。
- 新潟市の生活習慣意識アンケートでは、「やっていることがみとめられてうれしい」「自分にはよいところがある」という項目での肯定的な回答がどちらも80％を超えており、自己肯定感が高まってきている。

### ▲課題
- 「学校から地域へ発信しよう」という意識を高める働きかけから、あいさつ運動やボランティア活動など、子どもたちが学校の外へ出て行こうとする自発的な意識を更に育てたい。
平成26年度 「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 【B 校】

<table>
<thead>
<tr>
<th>学番</th>
<th>602番</th>
<th>新潟市立万村小学校（南区）</th>
<th>学級数</th>
<th>6</th>
<th>児童生徒数</th>
<th>92 名</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>取組名</th>
<th>芝生のグラウンドから元気を発信！Ver2</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>取組のねらい</th>
<th>オ校庭の芝生を地域の交流及び学びの拠点として活用し、子ども・保護者・地域の体力アップ、元気アップを図る。</th>
</tr>
</thead>
</table>

### 特色のある主な活動

1. 《芝生のグラウンドにステージを新設し、地域の夏祭りを実施することで、保護者・地域の方との連携が深まった》
   - 芝生のグラウンドに地域の人たちから積極的に足を運んでもらえるように、グラウンドの端にある山の一部を整地し、各種イベントができるように、ステージを設置しました。地域の夏祭りを初めてグラウンドで行い、大好評でした。
   - 《芝生のステージで気持ちよく歌ったり踊ったりできます》
   - 芝生を利用した野外ステージで出演者は気持ちよく歌ったり踊ったりできます。観客も芝の上なので、応援しやすいです。
   - 《子どもたちの声》
     - 「最初は少し興奮していたけど、楽しく演技できました。」「芝生は気持ちいいです。」
     - 《地域の方の声》
       - 「体育館の時はステージとメイン会場が別々の場所だったけれど、今年はステージと同じ場所に設置できて、とても一体感のあるお祭りになりました。」

2. 《芝生で遊ぶための環境づくりを推進し、意欲的に運動する子どもが更に増えた》
   - 芝生のグラウンドで遊びやすい環境や条件の整備を進めたことで、芝生で遊ぶ子どもが更に増え、体力アップにつながる運動をするようになりました。
   - 《ニュースポーツなどを追加導入し、多様な遊び道具を使ってるように工夫》
     - グラウンドへの通園道となる階段下に棚を設置して、昨年度以降更に外遊びの道具を充実しました。本年度はスカッドボールとその的、バランスボール、ソフトフロッサ、スポーツリバーシ等を追加しました。
     - 《内宿でのグラウンド活用》
     - 教室から出てすぐに芝生で遊べるようにグラウンドへの出入口を更に清掃整備して、内宿で出やすいしました。

### 成果と課題

- 《芝生に野外ステージを新設し、芝生グラウンドを地域の交流拠点とすることができた。}
- 《休み時間に芝生で遊ぶ子どもが更に増え、冬でも天候の良い日は外で遊ぶようになった。}

▲課題
- 《グラウンドに日陰になる場所があると、週休日も含めて地域の交流拠点として使い易い。}
- 《グラウンドのステージのある山に芝を植え、遊べるようにしたい。}
平成26年度  「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 【B 校】

<table>
<thead>
<tr>
<th>学番別</th>
<th>新潟市立白根小学校（南区）</th>
<th>学級数</th>
<th>21</th>
<th>児童生徒数</th>
<th>418名</th>
</tr>
</thead>
</table>

### 取組名
大型紙芝居で地域とつながろう

### 取組のねらい
大型紙芝居クラブ児童と地域のボランティアが協力して民話を作成し、発表することで、児童と地域の人々との交流を深める。

1. 〈子どもと地域のボランティアが力を合わせて、大型紙芝居をつくろう！〉
   4～6年生10名の大型紙芝居クラブ児童と、地域のボランティアが協力して民話を作成し、発表することで、児童と地域の人々との交流を深める。

#### 特色のある主な活動

<table>
<thead>
<tr>
<th>特色のある主な活動</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>子どもたちの作成から関わってくださったボランティアの方々は、各子どもたちがだんだんと自信をつけて、発表することが楽しい、緊張しなくなったと言っている。子どもたちが変わってきていた様子が、ほんとうにうれしい！とおっしゃってくださいました。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2. 〈地域で発表して、地域の方に喜んでもらいおう！〉
   子どもたちは「地域のどで発表したら喜んでもらえるか」を相談し、地域の保育園や老人ホームに出かけて、公演を行いました。地域の方々に喜んでもらうことが出来ました。地域に貢献する活動への広がり

#### 感想

〇成果
- 「地域の方と協力して地域のために何かしよう」と子どもたちが主体的に考えながら活動出来たことで、充実感を得ることが出来ました。一緒に活動したボランティアの方々からも、子どもたちの姿が喜びと褒められました。

▲課題
- より地域の施設や団体等とかかわりながら双方向の活動を継続していくためには、活動計画を練り、相談する場を計画的に定期的に行う必要があると思います。
平成26年度 「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 （B校）

<table>
<thead>
<tr>
<th>学番</th>
<th>610番</th>
<th>新潟市立味方小学校（南区）</th>
<th>学級数</th>
<th>9</th>
<th>児童生徒数</th>
<th>173名</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>取組名</th>
<th>次代を担う 輝く「味っ子」の育成 ～学校力と地域力のコラボでパワー全開～</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>取組のねらい</th>
<th>A 「おむすびクラブ運営協議会」事業の拡充 子どもに教えて地域は元気！子どもの学力・やさしさ・体力アップ！ B 「地域ボランティアとの連携」活動の充実 地域の人々とともに、社会に貢献したり、働き掛けたりする活動を通じて、地域のよさを実感する。</th>
</tr>
</thead>
</table>

1 地域と繋がる・人と繋がる ～子どもの学力・やさしさ・体力アップ～

各ボランティア団体、公民館、児童館等で味小おむすびクラブを組織し、運営協議会で計画を出し合い事業を進めています。子どもに、いろいろなことを教えて地域が元気になるとともに、子どもの学力・やさしさ・体力アップを図りました。

＜自学者おえん隊で学びアップ＞
「自学者おえん隊」は、毎週水曜日の授業後、1時間半を活用して登録ボランティアが子ども達の学習を支援しています。また、平澤美紀記念館と連携し、平澤記念館誌に登録し、学習への取組が一層願望に子どもに対して応じられるよう、取組も進めました。今後も、子ども達の更なる学習習慣を育むと意欲化に向けた取組を展開します。

＜いきいき子ども塾（宿泊体験事業）でやさしさ・体力アップ＞
地域の皆様（いきいき子ども塾）のアルミ缶収納金や育成協議会の支援を基に、夏と秋に1泊2日でキャンプ地やお寺での宿泊体験や、スキーとスノーボードの冬の宿泊体験を取り入れました。地域の人々との交流・学年交流を通じて子どものやさしさに触れたり、集団行動の中で社会性を培ったり、ブルーやスキーやスノーボードで体力をつけたりと、子ども達にとって貴重な体験を得ることのできる事業でした。

2 味方からの発信 ～故郷愛・社会貢献～
地域の方々が地域の文化や農業を学び、発信したり、社会貢献につなげたりすることで、より地域の広さを知ることを目的としました。

＜われわれ笹川御広報隊！＞
笹川御のガイドボランティアから学び、笹川御を知り、そのすばらしさを社会に広めるため地域の良さを実感する活動を行いました。当日は、来客をだしましたお客様に、今まで学習したことをもとに丁寧に説明をする姿が見られました。

＜頑張れ！門脇小＞
東北大震災で被災した、石巻市立門脇小学校への支援を目的に、稲作（うるしそ）や販売活動を地域の農業や農業経済活動とともに体験しました。農業文化のよさを体験することとともに、支援を通じて、防災の在り方、支援の在り方について学ぶことができました。

<table>
<thead>
<tr>
<th>成果</th>
<th>ドリームプロジェクトの支援のおかげで、多くの人の出会いの場を持つことができ、子ども達の気付きにつながった。</th>
</tr>
</thead>
</table>

【課題】
活動後の子ども達の達成感を次の活動に繋げていくための手立て。活動成果の校内、家庭、地域との共有化を図る手立て。
<table>
<thead>
<tr>
<th>学番</th>
<th>学校</th>
<th>学級数</th>
<th>児童生徒数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>714番</td>
<td>新潟市立東青山小学校（西区）</td>
<td>19</td>
<td>538名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 取組名 | 広げよう！ひまわりフレンドの輪 |

| 取組のねらい | 学校支援ボランティア「ひまわりフレンド」の輪を広げ、子どもたちが地域の大人と豊かに、そして安心してふれ合える環境を整えます。また、学校を地域の学びの拠点として新たに機能させ、大人の学びのニーズに応えたり、ボランティアの養成、スキルアップを図ったりできるようにしています。 |

| 特色 | 〈子どもたちの思い〉 |
| 特色 | 校外学習に出かけた子どもたちには、このジャンパーを着用することで、ひまわりフレンドの一員であることが自覚されるとのこと。 |
| 特色 | ひまわりフレンドをより身近に感じることができました。 |

| 2 〈育てるひまわりフレンド！つながるひまわりフレンド！〉 |
| 主な活動内容「ひがしの学び講座～ハープにふれよう～」 |
| 「ひまわりフレンド」の「自分たち自身も学びたい。」という声から |
| 「ひがしの学び講座」が始まりました。今年度は、ハープに興味のある人が集まり、3回の講座が開催されました。 |
| 活動 | 〈子どもたちの活動へのつながり〉 |
| 活動 | 講座受講者が学校学習で育ってきた経験を、特別授業学級の子どもたちが、カレンダーを作りました。 |
| 活動 | 続けて、校内のすべての教科に飾られました。 |

| 成果 | ひがしの学び講座をきっかけに、「ひまわりフレンド」の自立した活動が広がり始めています。 |
| 成果 | 学校支援ボランティア「ひまわりフレンド」が、子どもたちにとってより身近な存在となりました。子どもたちは、安心して思いっきり学習できる喜びを感じています。また、「ひがしの学び講座」をきっかけに、「ひまわりフレンド」の自立した活動が広がり始めています。 |

| △課題 | さらに輪を広げ、より多くの方に、気軽に学校に足を運んでいただきたいです。 |
平成26年度 「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 【B 校】

学番小802番 新潟市立和納小学校（西蒲区） 学級数 8 児童生徒数 231名

取組名 和納のいきいき未来創造プロジェクト

取組のねらい 心が通うふるさと、生き甲斐のある地域づくりを目指す。

1 『地域のおとなとの学び場でおとなも元気に！「くじらの学校」みんなの和納小学校～』
・「子どもが元気！」「学校が元気！」に、そして、「地域も元気！」になることを目指して、昨年度から、『くじらの学校』（大人の学び場）を実施しています。地域の大人にとっ和納小学校に足を運んでいただき、「学ぶことを楽しんで元気になってほしい！」「和納小学校の子ども達や学校をより身近に感じてほしい！」と願っています。

＜学校の施設を使うことで、学校を身近なものに＞
子ども達が学校にいる時間帯に、学校の教室等の施設を利用しています。なかなか学校に足を運ぶ機会のなかった参加者もいて、「何十年かぶりに学校に入ったわぁ」「世間話をしながら楽しかった」「いろんな人とつながりができた楽しい」という声が聞かれました。

＜地域の人材を生かした講座を開講＞
昨年度は「フラワーアレンジメント教室」「漆器絵付け」「金体験教室」「わら細工教室」を開講しました。今年度は「布草履づくり」を開講。講師は地域の方にお願いしています。今年度は、申し込みのあった人数よりも多くの参加者が学校に訪れ、活動が充実に定着するなど、うれしい結果をあげました。講師の方も「参加して下さった方の笑顔がうれしい」「自分が地域の方の役に立ててうれしい」と、参加者から元気をもっていきました。

2 『地域の先生は命の先生（地域の先生から学ぼう！）』
・さつまいも、大根、夏野菜、人参、大豆などの栽培や栽培について、地域の先生から学んでいる。また、ボランティアの方からも活動のお手伝いをしてもらった。

＜命あるものに心寄せる子ども＞
地域の農業を専門としている方から、子どもの経験や知識を広げてもらうことで、子ども達は、命あるものに自分の思いをもっとなりました。野菜の成長の様子を本当に楽しみに、少しの成長の変化に喜び、いとおしさを覚えました。元気のない時には、どうしたら元気になってくれるのか、みんなで対策を考え、話し合いました。地域の先生から、どうしたらよいかを教えてもらうこともありました。教えてもらった、自分達で考えたりしたことを実践し、野菜を収穫したときの喜びは普段体験できることのない大きな喜びとなりました。

〇成果
おとなとの学びの場『くじらの学校』は、新しいつながりや交流ができてとてもよかったと、参加者にもとても好評でした。専門の知識や特技をもつ地域の方を先生としてお呼びすることは、子どもの体験と知識、心がしっかりリンクした確かな学びにつながります。

▲課題
もっと地域の人に学校に来てもらうための広報活動が必要です。土づくりなどの環境整備ができると、野菜などもよく育ち、より実感の伴った学習を展開できると考えます。
<table>
<thead>
<tr>
<th>平成26年度 「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」 実施報告書 【B 校】</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>学番小811番 新潟市立越前小学校（西蒲区） 学級数 6 児童生徒数 61名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

取組名
地域大好き いきいき浜っ子大作戦

取組のねらい
地域のよさを発見し、地域を大切に思う気持ちを育む学習を設定することにより、子ども・地域・学校みんながいきいきと活力あふれる姿になるようする。

<table>
<thead>
<tr>
<th>特色のある主な活動</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1 《子ども・学校・地域がつながる「浜っ子みそ造り」！！》</td>
</tr>
<tr>
<td>・3年生が地域のみそ造り名人からみそ造りの技や工夫を学び、その後全校児童に働き掛け、みそ造りを行いました。みそ造り当日には多くの地域の方が参加していただきました。</td>
</tr>
<tr>
<td>○特徴</td>
</tr>
<tr>
<td>《みそを核とした子ども・学校・地域のつながり》</td>
</tr>
<tr>
<td>みそができあがった後は、浜っ子みそとして袋詰めして、浜っ子フェスティバル（文化祭）に訪れた地域の方に配付しました。フェスティバルには、この浜っ子みそをめあげて多くの方が来校されました。みそが子ども・学校・地域をつなぐ核となりました。</td>
</tr>
<tr>
<td>2 月には、浜っ子みそを味わう会を設定し、みそ造りを教えてくれたみそ造り名人と全校児童が一緒に浜っ子みそでできたみそ汁でおにぎりをおいとく予定です。みんなで造ったみそを味わうことにより、感謝の気持ちを伝えます。</td>
</tr>
<tr>
<td>2《伝統復活！！「校旗の歌」》</td>
</tr>
<tr>
<td>・越前小学校の校旗は七つ星と波がバランスよく配置されており、地域の方も誇りに思っています。学校の歴史を調べる中で発見された校旗の意味が組まれた校旗の歌を、140周年記念式典に向けて、復活させることにしました。</td>
</tr>
<tr>
<td>○特徴</td>
</tr>
<tr>
<td>《時間を超えて蘇る校旗の歌》</td>
</tr>
<tr>
<td>一枚残っていた校旗の歌の簡単な楽譜を基に、専門家に依頼し伴奏譜を付け、音源として蘇らせました。現在は全校朝会等で歌い練習をしています。地域の方には、来年度行われる140周年記念式典で披露する予定です。伝統ある校旗の意味を語り継ぐ歌として、校歌と同様に子どもたちに親しませ、長く歌い継いでいきたいと考えています。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

成果と課題
○成果
地域の伝統（みそ造り）と学校の伝統（校旗）を学ぶことにより、子どもたちが地域や学校の文化やよさに気付くとともに、子ども・学校・地域のつながりを深めることができました。

▲課題
さらに充実した活動にするために、道具や資料を整備していいく必要があります。